



水道はどこからどこへ

石巻市立蛇田小学校 5年 三浦 咲

私は、三・四年生のときに水がどこからきて水道につながっているのか勉強しました。蛇口から水が出てくるまでに、さまざまな方法で水をきれいにして、水道につながっているという事を知りました。水道はいろいろな所にありますが、どこにつながっているのか、水はその後どうなるのかについてくわしく調べ、まとめてもっと水道について知りたいと思いました。

一つ目は、水道につながっている道はどうなっているのかです。家のすぐ近くまで水道水を配るパイプを配水管といい、それはほとんど道路の下を通っています。理由は、家が建っているところだと地面の下の工事をするのが難しいこと、新しく街をつくる時、道路工事とあわせて計画し作業を進めることができるということが分かりました。その他にも理由はたくさんあります。配水管は、かなり深いところにうめられています。こうした深いところに水を通しては、冬の寒さで凍りつかないようにするためです。

二つ目は、水が安全に水道までくる仕組みについてです。最初は、ダムで水をいつでも供給できるように水をためておき、大雨のときには洪水を防ぎ、渇水の際にも水を使えるように水の量を調節します。二番目に取水場へ川の水やダムの水、原水を取り入れて浄水場へ送ります。水路では取水した原水を別の川や浄水場などの必要な場所に運びます。浄水場へいくと取水した原水に浄水し、理を行って、安心して飲める安全でおいしい水道水をつくります。最後に配水場から各家庭の蛇口につながる給水管へ水道水を運びます。

三つ目は、使った水道水がどこへもどっていくかです。台所やお風呂、トイレ、洗たくなど、私たちが家庭で使った後の水は再び川にもどり海へとながされていきます。ただし、使った後の汚れた水を、そのまま川や海に流してしまうと、川や海が汚れ生き物が住めなくなったり、私たちの健康に悪影響をおよぼしたりして体に害をあたえてしまいます。川や海のきれいな水を守るために、家庭で使われた後の生活排水は、下水しよりせつできれいな水にしてから、川にもどします。これで魚などの海に住む生き物たちや、私たち人間に害をあたえることも少なくなります。

このように、蛇口から水が出てくるまでに、私たちが使う水をきれいにして安心・安全な水にしています。私たちが使った後は川や海にもどされ、生き物たちがより住みやすいかんきょうとなるように、水をまたきれいに行っているという事が分かりました。水道は出したいとき出せ、とても便利ですが、その前にもさまざまな工夫がされていて、水道を使うときには、もっともっとありがたみをもたなくてはいけないと感じました。これからも、大事に水道水を使っていきたいと思います。